

梅ヶ島 山の声



～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハスっくん

～ 忘れない ～ 梅ヶ島災害50年

梅ヶ島災害から50年を迎える今年、実行委員会では災害の教訓を未来へつなぐ取り組みとして安倍川下流域の子供たちにも安倍川の特徴・歴史を知ってもらおうと治山・砂防出前講座に取り組んできました。



「土砂災害 まず備え！」
 大河内中学校 出前講座(4月12日)



「身近な安倍川を学ぶ」
 賤機中小学校 出前講座(4月22日)



「地域を巡り土砂災害の歴史を学ぶ」
 大河内中学校 出前講座(5月17日)



「山を守り、人命・財産を守る」
 梅ヶ島小中学校 出前講座(5月24日)

6月17日(金)には梅ヶ島小中学校体育館で式典・防災講演会が開催されます。地域にお住まいのみならず是非ご参加ください。

梅ヶ島災害50年
 未来への継承

平成28年6月17日(金) 13:00 (雨天決行)
 静岡市立梅ヶ島小中学校 体育館
 入場無料 (予約不要 定員300名)

第一部 式典 13:00～13:50
 第二部 防災講演会 14:00～16:00

【主催】梅ヶ島災害50年事業実行委員会
 国土交通省静岡河川事務所、林野庁静岡森林事業課、静岡県、静岡市、梅ヶ島学区自治会連合会、大河内学区自治会連合会(一社)、静岡建設業協会(一社)、中部地域づくり協会、静岡文庫

【協賛】朝日新聞静岡版、NHK静岡放送局、静岡新聞社、静岡放送、中日新聞東海本社、毎日新聞静岡支店、静岡放送、静岡朝日テレビ、静岡建設業協会、全国治山砂防協会静岡支部、静岡県砂防ボランティア協会(公社)、静岡県山林協会

【問い合わせ先】 国土交通省 静岡河川事務所 総務課 Tel.054-273-9100

○ 第一部 式典

13:00 開式

13:20 映像紹介

- 災害当時の記録映像

13:35 梅ヶ島災害と砂防事業紹介

- 「昭和41年梅ヶ島災害と50年の歩み」
 国土交通省静岡河川事務所長 犬飼一博

13:45 ビデオレター

- 「昭和41年足和田災害」
 山梨県富士河口湖町長 渡辺喜久男 氏

○ 第二部 防災講演会

14:00 基調講演

- 土砂災害はどれくらい危険なのか(仮称)
 静岡大学農学部准教授 今泉 文寿 氏

14:40 災害体験者体験談

- コーディネーター 五味 響子 氏
- 災害体験者 秋山 宥之 氏
 秋山 さえ子 氏

15:20 学習発表会&治山・砂防出前講座の紹介

- 学習発表会 梅ヶ島小中学校・大河内中学校
- 治山・砂防出前講座の紹介

15:55 未来へのメッセージ

- 梅ヶ島小中学校

16:00 閉会



6月は土砂災害防止月間です

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取組の一環として、梅雨や台風の時期を迎えるにあたり、国民一人ひとりが土砂災害の防止及び被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、毎年6月を「土砂災害防止月間」として定め、様々な取組を実施しています。

青葉シンボルロードで「砂防フェスティバル」を開催します～6月18日(土)～

土砂災害の怖さや、砂防事業の重要性を市民の皆様理解していただくため、6月18日(土)に静岡市葵区の青葉シンボルロードで「砂防フェスティバル」を開催します。この行事は、平成8年から「砂防フェスタしずおか」として、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方気象台が共催して開催し、土砂災害防止に関する模型やパネルを展示します。皆様も是非お出かけ下さい。



昨年の「砂防フェスティバル」の様子

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集(6月1日～9月15日)

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要領については、下記HPでご覧いただけます。

【募集対象】小中学生 【応募期間】6月1日～9月15日

【応募方法】応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記

【応募先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部 河川砂防局 砂防課 TEL(054)221-3042

詳細は、砂防課ホームページから。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/>



出水期を控え、管内砂防施設の点検を実施

静岡河川事務所では安倍川管内の直轄砂防施設の点検をおこなっています。この点検は5月末までに実施予定で、出水期に備えます。



施設点検の様子(孫佐島砂防堰堤)



施設点検の様子(孫佐島砂防堰堤)



施設点検の様子(三河内川床固工)

地域の皆様におかれましては、砂防施設やお住まいの溪流周辺などでお気づきの点がありましたら梅ヶ島出張所までご連絡ください。

編集後記

大型連休が明け、今年も産んでるかな？と、期待しながら出勤するとちゃんと産んでいました。この1ヶ月は朝夕「モリアオガエル」の元気な鳴き声が響いている出張所です。無事に育って、来年もこの季節に賑やかな声を聞かせてほしいと思っています。



皆様からの情報やご意見を募集します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyou/02_office/toiwase.html